令和6年4月25日

令和6年度

茨木市農業委員会委員総会議事録

茨木市農業委員会

茨木市農業委員会委員総会議事録

- 1 開催日時 令和6年4月25日(木) 午後1時30分～2時30分
- 2 開催場所 茨木市役所 南館8階 中会議室
- 3 出席委員(14人)

会長	14番	小濱	邦臣			
副会長	6番	中村	正治			
委員	1番	大神	平	2番	中西	壽男
	3番	入交	享子	4番	矢頭	周
	5番	久保	睦子	7番	南野	悟
	8番	吉田	公俊	9番	早川	訓男
	10番	谷山	正昭	11番	池田	洋一
	12番	大西	清一	13番	西林	肇
- 4 出席農地利用最適化推進委員(6人)

第1地区	西ノ坊	嘉治	第2地区	中井	昇
第3地区	中野	勝之	第4地区	小川	範久
第5地区	川端	稔	第6地区	森	善隆
- 5 欠席農地利用最適化推進委員(1人)

第7地区	松本	好博
------	----	----
- 6 農業委員会事務局職員(4人)

事務局長兼農林課長	谷田	明夫	事務局次長	松下	伸弘
事務局長代理	奥田	真貴子	職員	近藤	大介
- 7 議事録署名委員

12番	大西	清一	13番	西林	肇
-----	----	----	-----	----	---
- 8 付議案件

報告第1号	令和5年度茨木市農業委員会活動報告について
議案第1号	令和6年度茨木市農業委員会活動計画について
- 9 会議の概要

事務局

それでは、定刻となりましたので、ただ今から令和6年度茨木市農業委員会委員総会を開会させていただきます。

まず、開会にあたりまして、小濱会長からご挨拶を申し上げます。

小濱会長

皆さんこんにちは。

日頃は、農業委員会活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、委員の皆様におかれましては、農作業の準備等でお忙しい中、令和6年度茨木市農業委員会委員総会にご出席いただきましてありがとうございます。

また、ご臨席をいただいております、福岡市長様、長谷川市議会議長様、ならびに岡本茨木市農業協同組合代表理事組合長様には、それぞれのお立場で、特段のご理解とご高配を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、近年気候変動による異常気象や世界各地での紛争により食料供給の不安定化が懸念される中、国において食料安全保障の強化などを柱とする食料・農業・農村基本法の改正案が本年の通常国会に提出されており、現在審議が行われているところでございます。

一方、地域農業を取り巻く状況につきましては、今後一層の農業従事者の高齢化や担い手不足が進むことが見込まれており、耕作されない農地の増加が懸念されております。

このような中、地域農業を守る取組としまして、市におきまして地域計画の策定作業が進められており、それぞれの地域における農業の将来の在り方等について協議が始まっております。

今後は、地域農業の課題について地域の皆様が話し合いを重ね、将来の地域の農地利用について地域計画にまとめることが求められております。また、農業委員会につきましては、地域の農地を守るため、市や関係団体と連携し、地域計画の達成に向け取り組むことになっておりますが、とりわけ地域の話し合いへの参加の呼びかけや農地の利用調整において重要な役割を期待されております。

委員の皆様には、引き続き本市農業の発展のため、ご尽力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の委員総会が円満裡に運び、所期の目的が達せられますよう、委員各位のご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

事務局

続きまして、本日公務ご多忙の中、ご臨席を賜っておりますご来賓の皆様方をご紹介いたします。

初めに茨木市長 福岡洋一様でございます。

茨木市議会議長 長谷川 浩様でございます。

茨木市農業協同組合代表理事組合長 岡本康夫様でございます。

茨木市副市長 足立光晴様でございます

茨木市産業環境部長 下菌真一郎様でございます。

事務局

以上がご来賓の方々でございます。

それではここで、ご来賓のご祝辞をお受けいたしたいと存じます。

茨木市長、福岡洋一様よろしくお願ひいたします。

市長

改めまして皆さんこんにちは。ご紹介いただきました市長の福岡でございます。

小濱会長はじめ委員の皆様におかれましては、平素から茨木市の農業振興にお力添えいただいておりますことに敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

先ほど会長からお話がありましたとおり、今年度末を目指して地域計画ということで、調整区域内の、確か45の地域において地域計画を作っていただくということで、昨年12月から作業が始まっていると聞き及んでおりますけれども、各地域に入らせていただいて環境を整えていただいているということで、市としても皆さまの活動をサポートしてまいりたいと考えております。

農業の後継者、担い手の確保というところでいきますと、市の方で大阪府の準農家制度に代わる地域農家制度というものを4月から運用を開始したところです。既に1件認定をさせていただけるような、しっかりと経験も技術もあるような方がおられたということもあります。

また就農支援塾めぐりばということで、農地のあっせんを受けていただけるくらい、認めていただけるくらいの方を育てていくということで、めぐりばというところにつきましても春夏コースについては定員4名のところに対して14名の方からお申込みをいただきまして、周知期間が1月ちょっとしか無かった中では、結構多くの方にご関心をお持ちいただいて、また、既に事前に面談もしておりますので、ふるいにかかっております。

申し込んだだけという方ではなくて、ちゃんと話を聞いてこちらもまあいけるかなという方が応募されているんですけど、それでも14人もいらっしゃったということで、まだまだ全体から担い手をという中で小規模かもしれないですけども、一歩でも二歩でも、一人でも二人でもということで、市として一緒になって汗をかいていきたいというふうに考えております。

今年も年始は琵琶湖の水がと言われておりましたが、雨がそれなりに降りましたので、これから田植えのシーズンを迎え水が溜まっているというようなお話も聞いております。

また、茨木市の農業天候不順等も今後出てくるかもしれないですけども市とし

ましてもしっかりサポートしていく一年にしたいというふうに考えております。

結びになります。委員の皆様のご活躍をお祈り申し上げまして、ご期待申し上げます。市を代表してのご挨拶とさせていただきます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

続きまして、茨木市議会議長、長谷川 浩様。よろしくお願いいたします。

長谷川議長

ご紹介をいただきました茨木市議会の長谷川でございます。

令和6年度の茨木市農業委員会委員総会を開催されるにあたり、市議会を代表いたしまして、一言、ご挨拶申し上げます。

4月も下旬に入り、委員の皆様方におかれましては、ますますお忙しい時期をお迎えのことと存じますが、お元気にご活躍でありますこと、何よりとお慶びを申し上げます。

さて、近年、異常気象による災害が全国各地で発生し、さらには先の見通せない不安定な世界情勢や、円安による肥料や資材などの価格の高騰により、多くの農業従事者が窮地に立たされております。

また、食料自給率の伸び悩みをはじめ、農業従事者の高齢化、後継者不足、遊休農地の増加など、我が国の農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

そのような中、本市におきましては、4月から就農を希望する人を支援する地域農家制度がスタートしました。

また、都市と農村の交流活動を通じた地産地消の取組みや、地域ぐるみでの農地の保全・活用を促進するため、農業の基盤整備を進めていくことが重要であると認識しております。

農業委員会委員の皆様におかれましては、小濱会長をはじめ、委員の皆様方が卓越した識見と豊富な経験のもと、本市農業の振興・発展に格段のご尽力を賜っておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

どうか皆様方には、農業における公的機関として、新たな担い手の確保や、地域特性をいかした農業の振興に、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、都市と農村が調和する茨木らしい都市近郊農業の推進に意を用い、農業の担い手が将来に希望を持てるよう、環境整備に取り組んでまい

る所存であります。

結びに、本日の総会が、本市農業のさらなる振興に寄与する、実り多いものとなりますよう、併せて、茨木市農業委員会のますますのご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げまして、ご挨拶といたします。

本日は総会の開催、誠におめでとうございます。

事務局

ありがとうございました。

続きまして、茨木市農業協同組合代表理事組合長岡本康夫様、よろしくお願いたします。

岡本組合長

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました J A 茨木市の岡本でございます。

本日は令和 6 年度茨木市農業委員会委員総会の開催、誠におめでとうございます。心からお喜びを申し上げます。

委員総会の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

農業委員の皆様には日頃より J A 茨木市の各事業に格別のご高配を賜っておりますこと誠にありがとうございます。

この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も大雨や台風による自然災害や、例年になく酷暑となったことから多大な農業被害が発生いたしました。

また、令和 6 年元旦に発生いたしました石川県能登半島を中心とした震度 7 の地震では、農業用ダムやため池、また農地の地割れや法面の崩壊、津波等もございまして、農地への塩分流入など甚大な被害が発生いたしました。

また、ロシアによるウクライナの侵略は、今もなお収束の兆しが見えず、イスラエルやパレスチナの武力衝突など、国際情勢も不安定な状況が続いております。

原油高や円安等が要因となり生産者への価格が高止まりするなど、農業経営は厳しさを増しており、離農の加速が懸念されている状況でございます。

本市農業におきましては、農業従事者の高齢化がなお一層進展する中、担い手対策、不耕作農地対策など喫緊の課題であり、地域農業の振興に取り組み、茨木市の農業を守り農家所得の向上や農業後継者、新規就農者等への支援対策が必要であります。

今後、茨木市農業委員会や地域の皆様と協力しながら、地域計画の作成に向けた協力をしてまいります。

また、山間部を中心にイノシシやシカなど有害鳥獣による農作物被害が広がっております。

大切な農作物の被害の軽減を図るために当 J A も有害鳥獣被害防止対策事業とい

たしまして、資材購入額の補助をする取組みをいたしております。

今後有害鳥獣被害防止対策を支援してまいります。

このように農業をとりまく環境が厳しい中でございますが、茨木市農業委員会の委員の皆様におかれましては、地域の農業代表者といたしまして、多面的活動をリーダーとして役割を発揮されておられ、今後ご活躍を期待申し上げ、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

引き続きJA茨木市といたしましても、農業委員会の皆様と協力しながら難局を乗り越えてまいりたいと存じております。

終わりになりますが、ご参集の皆様方の益々のご健康とご活躍を合わせてご祈念申し上げます、簡単ではございますが、茨木市農業委員会の委員総会のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

本日は、茨木市農業委員会委員総会のご盛会、誠にありがとうございます。

事務局

ありがとうございました。

以上をもちまして、ご来賓のご祝辞を終わらせていただきたいと思います。

なお、ご来賓の皆様におかれましては、次の公務等のため、これもちまして、ご退席されます。

本日はお忙しい中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

拍手をもってお送りいただきたいと思います。

(来賓、退席)

事務局

それでは、議事を進めてまいります。議事進行につきましては、茨木市農業委員会会議規則第6条の規定により、会長は、総会の議長となり、議事を整理する。と定められておりますので、小濱会長に議長をお願いし、これより議事進行をお願いいたします。

小濱会長よろしくお願いたします。

議長

それでは会議規則に従いまして、現在の出席委員は14名でありますので、本総会は成立いたしております。

なお、農地利用最適化推進委員の出席は6名であります。

議長

それでは、議事日程に従い、順次進めてまいります。

始めに、議事録署名委員の指名を行います。

慣例に従いまして、私からご指名申し上げましても、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり。)

議 長

ご異議なしと認め、議席番号、12番、大西清一委員、並びに、議席番号、13番
西林 肇委員の両名をご指名申し上げます。

議 長

これより、付議案件の報告を行います。

報告第1号、令和5年度茨木市農業委員会活動報告につきまして、事務局の説明
を求めます。

事務局次長、松下君。

事務局

報告第1号、令和5年度茨木市農業委員会活動報告につきまして、ご説明申し上げ
ます。恐れ入りますが、着席して説明をさせていただきます。

議案書3項をお開き願います。

ローマ数字Ⅰ、会議の開催でございます。

1、委員総会を4月25日に開催し、令和4年度活動報告の了承及び5年度の活
動計画について審議、決定をいただきました。

2、臨時総会が7月20日に開催され、会長、副会長の互選、茨木市農地利用最適
化推進委員委嘱の決定が行われました。

また、臨時総会終了後に引き続き、3、全員協議会が開催され、運営協議会委員、
編集委員会委員の互選並びにふるさと農業再生委員会及び都市農政対策委員会の委
員長、副委員長の互選が行われました。

また、農業祭実行委員会実行委員の推薦も行われました

4、定例会につきましては、昨年4月21日の開催から、6頁に移っていただき
まして、本年3月22日の開催まで、計12回の会議を行い、農地法、農業経営基盤
強化促進法その他の法令に基づき、農業委員会の権限に属された事項等についてご
審議をいただきました。

続きまして、5、運営協議会が1回、7頁に移っていただきまして、6、農業委員
会だより編集委員会が3回、7、ふるさと農業再生委員会が5回、8頁に移って
いただきまして、8、都市農政対策委員会が5回、9、茨木市農地利用最適化推進委員
候補者選定委員会が2回、それぞれ開催されております。

ローマ数字Ⅱ、活動状況につきましては、1、委員等研修会を9頁にかけまして
7回開催しています。

2、農業祭につきましては、昨年11月18日、19日に開催し、農業委員及び推

進委員による農地相談を、実施いただいております。

3、大会参加につきましては、全国農業委員会会長大会、大阪府農業委員会大会に参加いただいております。

10頁をお開き願います。

ローマ数字Ⅲ、農地法等関係処理状況でございます。

1、農地関係処理状況につきましては、農地法及び農業経営基盤強化促進法等に基づきご審議いただきましたものと、事務処理要領等に基づき専決処理したものの、それぞれ年間集計でございます。

2、証明発行状況につきましては、委員会で発行いたしました証明の年間集計でございます。

11頁、3、農地転用区分につきましては、農地転用を目的別に区分し、年間集計したものでございます。

次に、12頁からは、令和5年度の農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況でございます。こちらは国からの通知に従い、作成したものでございます。

まず、ローマ数字Ⅰ、農業委員会の状況、令和5年4月1日現在でございます。

1、農業委員会の現在の体制につきましては、表に記載のとおり、茨木市農業委員会は、農業委員14人、農地利用最適化推進委員7人で、任命・委嘱年月日は令和2年7月20日、任期は令和5年7月19日までとなっております。

なお、農業委員会等に関する法律に基づく要件別の内訳としましては、認定農業者が1人、大阪版認定農業者等、認定農業者に準ずる者が6人、女性が2人、中立委員が1人となっております。

表の整理上、それぞれの要件ごとに該当者を算出しており、いずれの要件にも該当がない場合や重複している場合もございます。2、農家・農地等の概要につきましては、主に国が実施した統計調査に基づく数値を記載することとなっております。

まず、農家数、農業者数でございますが、それぞれ農林業センサスに基づき、記載したものでございます。

農林業センサスは令和2年2月1日現在、耕地及び作付面積統計は令和3年7月15日現在の数値を使用しております。

経営体数につきましては、認定農業者数等を、市農林課で確認し記載したものでございます。

また、下段の農地の面積につきましては耕地及び作付面積統計に基づくものでございます。

13項をお開き願います。

ローマ数字Ⅱ、最適化活動の実施状況、農業委員会の実績及び点検・評価結果についてでございます。

1、最適化活動の成果目標、(1)農地の集積について、認定農業者、基本構想水準到達者、集落営農組織、認定新規就農者等の担い手が農地利用している農地の面

積と新規集積面積、農業委員会の点検結果等を記載しております。

(2) 遊休農地の発生防止・解消について、緑区分の遊休農地解消の面積とその解消実績、農業委員会の点検結果等を記載しております。

なお、黄区分の遊休農地については、数値目標を設定するものではなく、遊休農地の解消のための工程表を策定することが目標であり、点検・評価することになっていることから、実績の項目でも、工程表の策定状況のみを記しております。

14頁、(3) 新規参入の促進について、参入した新規の経営体の数と取得農地面積、農業委員会の点検結果等を記載しております。

15頁、2、最適化活動の活動目標についてでございます。

(2) 活動強化月間の設定は、強化月間の設定回数、具体的な取組の内容を記載しております。

16頁、(3) 新規参入相談会への参加は、回数や相談会の内容を記載しております。

農業委員会の最適化活動の目標の達成状況の評語欄は、国の通知に基づき最適化活動の成果目標及び活動目標の達成状況に対する評語を、また、推進委員等の点検・評価結果について、成果目標及び活動目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記載しております。

17頁、ローマ数字Ⅲ、事務の実施状況につきましては、総会、部会の開催実績、農地法第3条、農地売買の許可、第4条、第5条の農地転用許可の処理状況、違反転用への対応について記載しております。

以上で、令和5年度の活動報告を終わらせていただきます。

ご了承賜りますようお願い申し上げます。

議長

事務局の説明が終わりました。

本件につきましては、昨年度の実績報告でございますのでよろしくご了承賜りますようお願いいたします。

次に、議案第1号、令和6年度茨木市農業委員会活動計画を議題といたします。

それでは、内容につきまして、事務局の説明を求めます。

事務局長代理、奥田さん。

事務局

議案第1号、令和6年度茨木市農業委員会活動計画につきましてご説明申し上げます。

それでは、議案書19頁をお開き願います。

議案第1号、令和6年度茨木市農業委員会活動計画について、令和6年度茨木市農業委員会活動計画を別紙のように定める。

令和6年4月25日提出、茨木市農業委員会会長小濱邦臣。

それでは、議案書 21 頁をお開き願います。

内容について、ご説明申し上げます。

令和 6 年度最適化活動の目標の設定等につきましては、国からの通知に従い、作成をしております。

項目は、大きく 2 つに分類されております。

まず、ローマ数字Ⅰ、農業委員会の状況、令和 6 年 4 月 1 日現在でございます。

1、農業委員会の現在の体制につきましては、表に記載のとおり、茨木市農業委員会は、農業委員 14 人、農地利用最適化推進委員 7 人で、任命・委嘱年月日は令和 5 年 7 月 20 日、任期は令和 8 年 7 月 19 日までとなっております。

なお、農業委員会等に関する法律に基づく要件別の内訳としましては、認定農業者が 2 人、大阪版認定農業者等、認定農業者に準ずる者が 7 人、女性が 2 人、中立委員が 1 人となっております。

表の整理上、それぞれの要件ごとに該当者を算出しており、いずれの要件にも該当がない場合や重複している場合もございます。

2、農家・農地等の概要につきましては、主に、国が実施した統計調査に基づく数値を記載することとなっております。

まず、農家数、農業者数でございますが、それぞれ、農林業センサスに基づき記載したものでございます。

農林業センサスは令和 2 年 2 月 1 日現在、耕地及び作付面積統計は令和 5 年 7 月 15 日現在の数値を使用しております。

経営体数につきましては、認定農業者数等を、市農林課で確認し、記載したものでございます。

また、下段の農地の面積につきましては、耕地及び作付面積統計に基づくものでございます。

22 頁をお開き願います。

ローマ数字Ⅱ、最適化活動の目標。

1、最適化活動の成果目標について、農地の集積、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進の 3 項目について、それぞれ現状及び課題、目標を記載しています。

まず、(1) 農地の集積について、①現状及び課題について管内の農地面積は 555 ヘクタール、これまでの集積面積は 26.9 ヘクタール、集積率は 4.8%でございます。

なお、管内の農地面積(A)は、地域計画の区域内にある農用地と生産緑地の合計面積を記載しています。

また、これまでの集積面積としまして、認定農業者、基本構想水準到達者、集落営農組織、認定新規就農者が農地利用している農地の面積を集計し、記載しています。

課題につきましては、認定農業者等担い手不足により集積が飛躍的に進まない、農地が分散化し、耕作条件が悪い農地のほ場の整備とともに、担い手の確保が必要である点を挙げております。

②目標について、農地の集積の目標年度は令和15年度、集積率は大阪府の農業経営基盤強化促進基本方針及び茨木市の基本構想に基づき53%を設定しています。

今年度の新規集積面積は0.5ヘクタールを目標とし、今年度末の集積面積累計では27.4ヘクタール、農地面積555ヘクタールに対する今年度末の集積率として4.9%を記載しています。

(2)遊休農地の発生防止・解消、①現状及び課題について、現状につきましては、1号遊休農地面積1.65ヘクタール、緑区分の遊休農地面積0.85ヘクタール、黄区分の遊休農地面積0.8ヘクタールでございます。

課題につきましては、農業従事者の高齢化、担い手不足、非農家への相続等により農地の管理が困難となり、今後遊休農地の増加が見込まれる点を挙げております。

②目標について、ア、既存遊休農地の解消、a、緑区分の遊休農地の解消につきましては、令和5年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積0.85ヘクタールに対し、解消目標面積は0.2ヘクタールとしております。

b、黄区分の遊休農地の解消につきまして、令和5年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地は0.8ヘクタールでございます。

遊休農地の解消のための工程表の策定方針としましては、関係機関及び団体と連携し、遊休農地の解消に向け協議を行うことを挙げております。

イ、新規発生遊休農地の解消について、前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積は0となっております。

23頁に移ります。

3、新規参入の促進、①現状及び課題について、現状直近3年度の新規参入状況を記載しています。

令和4年度に2経営体、0.4ヘクタールの新規参入がありました。

課題につきましては、農地の確保、資金面で新規参入するのが難しく、農業経営を軌道に乗せ、安定した収入が得られるまでに時間がかかる点を挙げております。

②目標について、目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を設定することが必要とされております。

令和2年度から令和4年度までの3年度分の実績を基に、平均の面積を算出しますと9ヘクタールとなり、新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積を0.9ヘクタールに設定しています。

以上が最適化活動の成果目標についての説明でございます。

続きまして、2、最適化活動の活動目標について説明いたします。

まず、(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標につきまして、1人当たりの活動日数は、1月につき8日としています。

最適化活動を行う農業委員及び農地利用最適化推進委員の人数については定数どおりでございます。

次に、(2)活動強化月間の設定目標につきまして、設定回数は3回、3項目を挙げております。

取組項目及び内容については、遊休農地の解消に向け、11月に遊休農地の所有者を対象に利用意向調査を実施し、意向把握に努める。12月に、利用意向調査の回収、取りまとめを行うことを挙げています。

また、新規参入の促進について、例年11月に開催される農業祭での農地相談等を通じて、新規就農希望者が就農できるよう情報提供を行う内容を記載しています。

次に、(3) 新規参入相談会への参加目標につきまして、先ほど(2) 活動強化月間の設定目標のところの説明しました農業祭での農地相談を挙げております。

回数は1回、開催時期は11月、参加者数は延べ8人、開催場所は農業祭の会場、相談会の内容としまして市農業祭の相談ブースで新規参入希望者との面談を通じ、新規就農者のニーズを把握し、それぞれが望む就農に向けて助言することを挙げております。

以上が、令和6年度茨木市農業委員会活動計画の内容でございます。

なお、本日この活動計画を決定いただきました場合は、国からの通知に基づき、前年度、農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況と併せ、市のホームページで公表をいたします。

よろしくご協議いただきますようお願い申し上げます。

議 長

事務局の説明が終わりましたのでこれより質疑を行います。

ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

議 長

小川委員。

小川委員

集積について言葉の意味を教えてください。

ローマ数字Ⅱの1(1)農地の集積、米印1、管内の農地面積は、地域計画の区域内にある農用地と生産緑地の合計面積ということは、市街化調整区域のなかにある農用地以外は、入っていないということでしょうか。

議 長

事務局。

事務局

こちらは、まず地域計画の区域内にある農用地というのは、市街化調整区域内の農地全てでございます。ですので、こちらの管内の農地面積は市街化調整区域の農地と市街化区域内の生産緑地の面積を取り上げているものでございます。

議 長
小川委員。

小川委員
調整区域は、農用地関係なく全部入っているということですか。

議 長
事務局。

事務局
そうです。
地域計画の制度の対象になっている市街化調整区域内農地は、全件対象になって
おります。

議 長
小川委員。

小川委員
ありがとうございます。
続いてその集積という意味がよくわからなくて、経営局長通知の別表1に掲げる
者への農地の集積の意味を教えてください。

議 長
事務局。

事務局
別表1に掲げる者といいますのは、こちらには添付できていないんですけども、
大きく4区分ございます。

まず一つは国版の認定農業者の方と、あと基本構想水準到達者、あとは集落営農
組織、認定新規就農者という部分がございますが、認定新規就農者といいますのは
これから農業を新規で始める方で国の認定を受けられた方、基本構想水準到達者
というのは国の認定の基準を満たしているんですけども、認定はとられていない方
になります。

また、集落営農組織というのは、地域の、例えば大岩地区のように地域の皆さん
で協力しながらされている営農組織が集積している農地が対象となるということ
であります。

議 長

小川委員。

小川委員

21項のこの表の、認定農業者とか認定新規就農者、ここに該当する人ということですか。

議 長

事務局。

事務局

その通りでございます。

議 長

小川委員。

小川委員

ありがとうございます。

議 長

ほかにご意見等ございませんか

(「なし」の声あり。)

議 長

ご意見等がございませんので、質疑を打ち切りましてもご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり。)

議 長

ご異議なしと認め、質疑を打ち切ります。

お諮りいたします。

令和6年度茨木市農業委員会活動計画につきましては、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり。)

議 長

ご異議なしと認め、左様決定いたします。

以上で、本総会の案件は全て議了いたしました。

それではこれもちまして令和6年度、茨木市農業委員会委員総会を閉会といたします。

慎重な審議を賜り、誠にありがとうございました。

上記会議の顛末を記録し、茨木市農業委員会会議規則第15条第2項の規定により、ここに署名する。

令和6年4月25日

茨木市農業委員会

議長

署名済み

署名委員

署名済み

署名委員

署名済み